

2019年10月2日

報道関係者各位

日鉄興和不動産株式会社
株式会社オレンジページ

夢のキッチンをみんなで創ろう！「Plus Kitchen PROJECT」

「日鉄興和不動産」×『オレンジページ』によるオリジナルキッチン開発

～スペシャルプロジェクト第2弾、ファミリー向けキッチンを開発～

日鉄興和不動産株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：今泉 泰彦）と、生活情報誌『オレンジページ』を発行する株式会社オレンジページ（本社：東京都港区、代表取締役社長：一木 典子）は、「もっと料理上手になるキッチン」をテーマに、単身者向け住宅のキッチンでも効率的に料理ができる設備・仕様を研究する「Plus Kitchen PROJECT」を立ち上げ、2018年3月より活動を行ってきました。2019年6月には共同で単身者向けオリジナルキッチンを開発いたしました。

この度、「Plus Kitchen PROJECT」第2弾として、ファミリー向けオリジナルキッチンの共同開発を行い、日鉄興和不動産が販売中の『リビオシティ西葛西親水公園』（東京都江戸川区、総戸数282戸、2021年2月竣工予定）に導入することといたしましたので、お知らせいたします。

【ファミリー向けオリジナルキッチン開発の経緯】

「Plus Kitchen PROJECT」第2弾では、日鉄興和不動産とオレンジページが商品企画会議を行い、オレンジページが保有する料理や家事に関するトレンドやノウハウを参考に、日鉄興和不動産がこれまで入居者調査やワークショップなどで得られた住まいのノウハウを重ね合わせ、複数のオリジナルキッチン案を作成。オレンジページが運営するオンラインコミュニティ「オレンジページサロン WEB」内でオリジナルキッチン案についてアンケートを行いました。

アンケートでは、合計368件の回答が集まり、「目線の高さに下ろせる、ハンドムーブ式吊り戸棚」が人気投票1位となりました。

『リビオシティ西葛西親水公園』では、この設備に加えて、アンケートで困りごととしての声が多かった、「お手入れ・掃除」「効率よく料理ができる」「効率よく収納ができる」の3ポイントに注目して、オリジナルキッチンの開発を行いました。



■『リビオシティ西葛西親水公園』マンションギャラリーにてオリジナルキッチンを公開

『リビオシティ西葛西親水公園』マンションギャラリーでは、10月12日より、今回のプロジェクトについての調査結果をパネル展示しており、共同開発によるオリジナルキッチンの実物を公開しています。



*オリジナルキッチンはオプション販売となります。

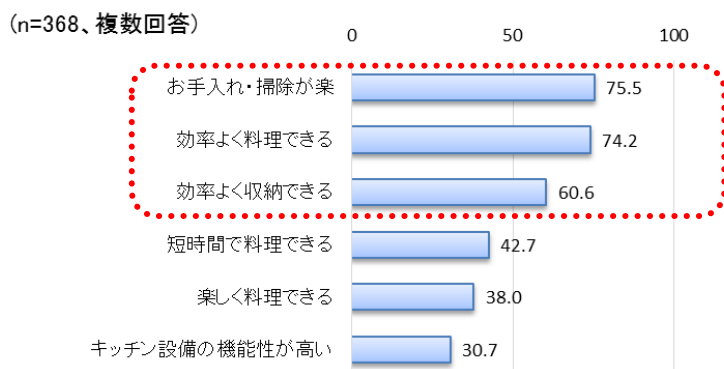
《添付資料》

【夢のキッチンをみんなで創ろう！「Plus Kitchen PROJECT」第2弾の活動内容】

「Plus Kitchen PROJECT」第2弾ではオレンジページサロン WEB 会員に日頃料理をするときに感じていることや気になることを調査するとともに、商品企画会議で出たアイデアの人気投票を行いました。

■料理をする上で、キッチンについて重要視していることは？

オレンジページサロン WEB 会員の皆さんは、料理をする上で、「お手入れ・掃除が楽」「効率よく料理ができる」「効率よく収納ができる」キッチンであることを重要視しているようです。本プロジェクトでは、この上位3点が盛り込めるよう商品開発を行いました。



Q.料理をする上で、キッチンについて重視していることは？ (単位：%)

また、調理道具の中で収納に困っているものを聞いたところ、1位「やかん」、2位「まな板」、3位「フライパン」という結果に。キッチン小物では、1位「食器用ふきん」、2位「洗いおけ」、3位「キッチンペーパー」「ごみ袋のストック」。キッチン家電で収納に困っているものは、1位「ホットプレート」、2位「ジューサー・ミキサー」、3位「フードプロセッサー」となりました。多くの家庭が持っていると思われるキッチン道具の収納場所に困っていることが分かりました。

本プロジェクトの収納機能は、それらをうまく片づけることのできる『効率的な収納』を目指して造っています。さらに、今後欲しいと思うキッチン設備や機能を聞いたところ、「ディスポーザー」が1位となりました。「お手入れ・掃除が楽」に応える憧れの設備とも言えるでしょう。



Q.調理道具で収納に困っているものがあれば教えてください。 (単位：%)

■どちらのキッチン収納が欲しいか？

上記アンケートに加えて、商品企画会議で生み出した収納案2つをオレンジページサロン WEB 会員に投票をしていただきました。

A 案：目線の高さの下ろせる、ハンドムーブ式の吊り戸棚

B 案：ダイニング側に家族みんなで使える収納

の2つの選択肢から選んでもらったところ、「A 案：目線の高さの下ろせる、ハンドムーブ式の吊り戸棚」が52.4%の得票で支持されました。但し、B 案も47.6%と拮抗しており、ライフシーンに合わせてさまざまな収納スタイルが求められることが読み取れます。

『リビオシティ西葛西親水公園』では、得票率の高かった「A 案：目線の高さの下ろせる、ハンドムーブ式の吊り戸棚」をオレンジページサロン WEB 会員人気1位の案として、オレンジページスペシャルオプションに採用します。また2位のB 案にも賛同の声が多かったことから、オレンジページおすすめ案として、同じくオプションに採用することになりました。

A 案 目線の高さの下ろせる、ハンドムーブ式の吊り戸棚を追加

- ・キッチンペーパーや、よく使う調味料などの定位置をしっかり確保。
- ・空中のスペースを使うので、その下の作業スペースは広々使える。
- ・デッドスペースになりがちな、高い場所の収納を有効利用。上部の吊り戸棚の中に戻せば、見た目もすっきり。
- ・壁の幅があるので、リビング・ダイニングと、キッチンのスペースをしっかりと区別したい方におすすめ



B 案 ダイニング側に、家族みんなで使える収納を追加

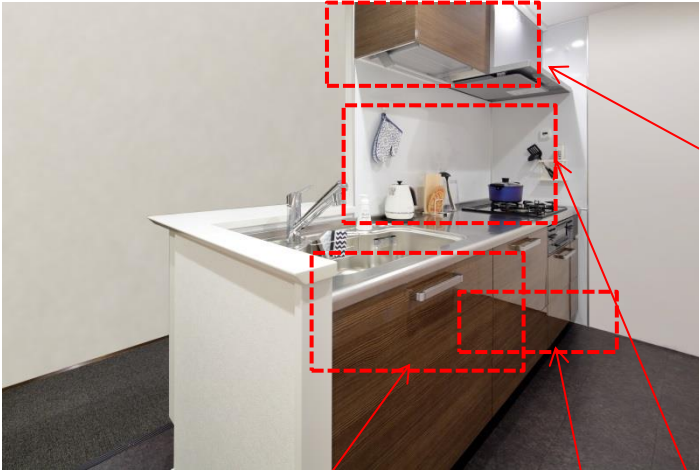
- ・ダイニング側に収納があることで、誰もが家事に参加しやすく、「家族が集うキッチン」に。
- ・コーヒーメーカーや電気ポットが置いて、一緒に使う茶葉や、コーヒー、カップ、お箸やキッチンクロスなどを入れて、お子さんが積極的に配膳や片づけのお手伝いをする習慣づくりに。
- ・キッチンとダイニングの間の壁の幅が狭く開放感があるので、リビング・ダイニングにいる家族とのコミュニケーションが取りやすいのもポイント。



■オリジナルキッチンについて

これらのアンケートや商品企画会議を踏まえ、日鉄興和不動産とオレンジページは共同で以下のようなファミリー向けキッチンの開発を行いました。

単身者向けと比較して広さが確保されているように見えるキッチンでも、料理をする回数や家族の人数によって、道具の大きさや量も変わるもの。広めのキッチンにも収納や作業効率の良さが求められていることは、単身者向けもファミリー向けも共通でした。



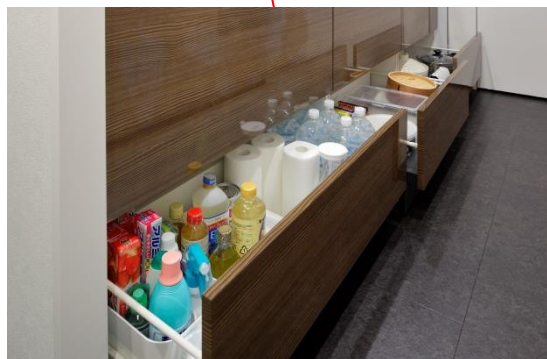
高いところも効率的に使いこなせるハンドムーブ式



中が二段に分かれていてラクラク片付けが可能に



熱に強く、汚れが落としやすいステンレスのワークトップやホーローパネルなど、こだわりの素材でお手入れ簡単



ストック類や、使用頻度の低いキッチン家電もしっかりしまえる足元収納